

ふるさとの昔話

増川の 黒仏さん

増川三丁目の円照寺に「黒仏」と呼ばれる仏像があります。これは、高さが九十センチくらいで、ヒノキの一刀彫りでつくられ、お寺の初代ご本尊でした。今回はこの「黒仏さん」に伝わるお話です。

黒仏さん



落馬させる仏さま

昔、増川・江尾の一带は浮島沼が広がり、根方街道は北の山すそを周るようでありました。当時、根方街道は重要な道で、旅人も多く往来しました。

いつのころか、馬に乗った旅人が円照寺の前を通るとき、寺のご本尊の方を向いて礼をしないと、必ず落馬すると言われるようになりました。

馬に乗った旅人は、必ず礼をして通りましたが、ある日、「そんなばかなことがあるか」という旅人が礼をせずに通りました。すると、やはり落馬してしまいました。

仏像を北向きに

なぜ落馬するのか理由がわかりませんでした。あるとき、住職が道路の方を向いていたご本尊の仏像を、反対の北向きにしてみました。

すると、その日から落馬する旅人がなくなりました。ということでした。

信心深かった地域の人の

円照寺の住職日比光生さん（六十歳）は「お寺を改築するまで、黒仏さんを北向きに安置しておく場所が本当にありました。今は南を向いています。この仏像の特徴は、自然に黒くなり目を閉じている点かな。詳しいことはわかりませんが、仏師の作ではないようで、昔、この地域の人がいかに信心深かったかがわかります。」と語ってくれました。



「黒仏さんは本当に北を向いていたんですよ」と日比さん

地名の由来

戸 (神戸地区)



神戸はカンベとも読んで、神社に附属する農民という意味ですから、今宮村と同様に、古くから今宮、浅間神社の社領村でした。

天文十六年（一五四七）、東泉院が今川義元の命令で五社別当になったことから、今宮村と同様に寺領村となつてその支配を受けてきました。一説では、この村の付近は富士郡の郡衛があつたところだと言われています。

こちら編集室

「春眠暁を覚えず」とはどういうことかと中学三年生に聞いたら、「受験勉強から解放されて眠りたいだけ眠ること」だと答えた子がいたとか。笑えない話ですね。

暑からず、寒からず、ほんわかした春は快い眠気をさそいます。でも、運転中の「春眠」だけは、くれぐれも気をつけて。

ニイハオ 你好



小学校の授業風景

厳しい大学入試

中国では子供の教育について両親とも熱心です。夫婦は子供の教育について責任を自覚しており、日本で言う「教育ママ」は存在しません。

教育制度は日本同様6・3・3・4制をとっていますが、私立大学がないことから大学入学の門は狭く、大学受験は日本より厳しい面があります。ですから、塾のようなものに通ったり、家庭教師につく子供もいます。

新学期は9月から始まるので、大学入試は年1回6月に行われます。

失敗した子供は、ほとんど就職しますが、中には浪人したり働きながら翌年再挑戦する子供もいます。

学生の長期休暇は、7・8月に40日間ぐらゐの夏休みと旧正月に20日間ぐらゐの冬休みがあります。

(内容は嘉興市のある浙江省から静岡県へ派遣されていた浙江省人民政府外事辦公室的虞希華さんから取材したものです。)